



# 車両を“ISO14001”に参加させたい。 会社の意向に日野が、ベストアンサーで応えた。

「環境貢献になり、物流コストも下げられる。将来の海外展開でもハイブリッド車の採用は検討に値しますね。」——山田社長談

「機械、歯車、工具、などには様々な鋼鉄が使われています。鋼鉄には大きく分けて普通鋼とニッケル、クロムなどの元素を添加した特殊鋼があります。当社は、普通鋼や特殊鋼の厚板からお客様の注文に従ってプレートを切り出し、表面切削、穴あけ、研磨、さらに必要に応じて焼入れ加工したものを製造販売しています。」と、話されるのは長野県上伊那郡箕輪町にある株式会社東信鋼鉄の代表取締役社長 山田邦夫様である。(以下、同社、社長)きれいな空気と水に恵まれた長野には歴史ある精密機械メーカーが多くあり、同社は鉄鋼メーカーと製造業のお客様をつなぐ商社として当初スタートしたのだが、カット済みの特殊鋼に潜在ニーズがあることに着目。カスタムサイズのプレートを製造販売する独自のビジネスモデルを生み出した。工場長の

新村一夫様によると、同社が扱う特殊鋼の種類は約200種類。当日受注した品の70%は、翌日に出荷されるそうだ。

驚異的な短納期だが、この配送に日野デュトロハイブリッドが活躍している。環境マネジメントISO14001認証取得の同社は、トラックも環境にやさしいものにしよう。という前社長の発案で2012年3月に、本社と八王子支店にハイブリッド車を2台導入した。燃費データも良好で期待値に届いているため、その実績を評価し広島の営業拠点にも間もなく1台配車されるとのこと。高品質なモノ作りを支える同社のプレートは、今後、工業化が進展する東南アジアでもマーケットを構築するポテンシャルを秘めている。日野デュトロハイブリッドが、その配送を担うことを期待したいものである。

## 株式会社 東信鋼鉄

住所: 〒399-4605 長野県上伊那郡箕輪町大字中曽根530番地3  
TEL: 0265-70-7200  
代表者: 代表取締役 社長 山田邦夫  
同席: 執行役員 工場長 新村一夫  
創業: 1967(昭和42)年  
従業員数: 190人 ハイブリッド車保有台数: 2台  
<http://www.tohsin.co.jp/>



ISO14001認証取得事業所を示す(社)長野県環境保全協会の木製プレート。  
将来的には東南アジア方面への進出も必要になるのではとお考えの代表取締役社長 山田邦夫様



標準幅キャブ・セミロングボデー、3トン積みの日野デュトロハイブリッド。



プレート加工をしている本社工場の建屋(上)と、営業部門と管理部門のある本社社屋(下)の外観。



全国からの受注対応に忙しく働く営業部門のコールセンターには女性スタッフの姿も多い。



高速での走りが良いと評価される専属ドライバーの白井吉明様。



10,000枚/日のプレートを24時間体制で製造し、短納期で全国のお客様に出荷していると語る、執行役員 工場長の新村一夫様(右)と総務経理室の林隆弘様(左)。



出荷前に3次元測定器でプレートの寸法精度をチェックしている様子(左上)、特殊鋼をマシニングセンターで加工したサンプル例(右下)。



取材でお世話になった皆様の集合写真。前列左から白井吉明様、桑沢英樹様、新村工場長、林隆弘様、後列左から北原莊辞様、金子元保様、平澤 誉様、山田社長。



長野日野自動車 伊那営業所担当(右)久保村 誠さん 新藤善隆さん(営業推進部)もうすぐ、3台目の日野デュトロハイブリッドを納車させていただき予定です。省燃費運転講習をご案内し、さらなる燃費アップのお手伝いをして参ります。